

第6学年

道

徳

児童の実態に応じた学習になるため指導する学期は定めていません。

以下の項目について学習します。

1. 主として自分自身に関すること

- ①生活を振り返り、節度を守り節制に心がける。
- ②より高い目標を立て、希望と勇気を持ってくじけないように努力する。
- ③自由を大切にし、規律ある行動をする。
- ④誠実に、明るく楽しく生活する。
- ⑤真理を大切にし、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくする。
- ⑥自分の特徴を知って、悪い所を改めよい所を積極的に伸ばす。

2. 主として他の人とのかかわりに関すること

- ①時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接する。
- ②だれに対しても思いやりの心を持ち、相手の立場に立って親切にする。
- ③互いに信頼し、学び合って友情を深め、男女仲よく協力し助け合う。
- ④謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を大切にする。
- ⑤日々の生活が人々の支え合いや助け合いで成り立っていることに感謝し、それにこたえる。

3. 主として自然や崇高なものとのかかわりに関すること

- ①自然の偉大さを知り、自然環境を大切にする。
- ②生命がかけがえのないものであることを知り、自他の生命を尊重する。
- ③美しいものに感動する心や人間の力を越えたものに対する畏敬の念をもつ。

4. 主として集団や社会とのかかわりに関すること

- ①身近な集団に進んで参加し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす。
- ②公德心をもって法やきまりを守り、自他の権利を大切にしながら進んで義務を果たす。
- ③だれに対しても差別をすることや偏見をもつことなく公正、公平にし、正義の実現に努める。
- ④働くことの意義を理解し、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役立つことをする。
- ⑤父母、祖父母を敬愛し、家族の幸せを求めて、進んで役に立つことをする。
- ⑥先生や学校の人々への敬愛を深め、みんなで協力し合いよりよい校風をつくる。
- ⑦郷土や我が国の文化と伝統を大切にし、先人の努力を知り、郷土や国を愛する心をもつ。
- ⑧外国の人々や文化を大切にする心を持ち、日本人としての自覚をもって世界の人々と親善に努める。